

さくら



令和5年7月10日(月)

微善を積む



奈良県橿原市に(株)佐藤薬品工業という会社があります。1947年(昭和22年)に創業し、地道に成長してきた会社です。創業当初12名でスタートしたこの会社は、現在では奈良県で最も従業員多い会社となりました。

創業者は佐藤又一(さとう まいち)氏。創業当初から、道德を軸とした会社経営を行ってきました。この経営方針は、会長や社長が交代しても引き継がれています。

現会長の佐藤 進(さとうすすむ)氏は、「持久微善(じきゅうびぜん)を積(つ)んで撓(たゆ)まず」という格言を大切にしています。この格言は、小さな善行を積み重ねていくことの大切さを説いたものです。また、善行の積み重ねを継続させることは、とりわけ大切だと氏は言います。

具体例として、進氏が実践していることの一つが朝のごみ拾いだそうです。他の会社の会長から、会社周辺のごみ拾いを勧められて始めました。三日坊主になるのは格好悪いので、なかなか始められなかったそうです。しかし、ある年の自分の誕生日をきっかけにごみ拾いを始め、もう十数年継続しているそうです。このような道德的取組が、自分・会社・社会にとって良い影響を与えるのです。

また、この会社は軟式野球部の活動でも有名です。これまでに栄光ある戦績を数多く残してきました。野球部監督の清水暉仙(しみずていせん)氏も道德的考えを大切にしています。それは、監督の次の発言からも読み取れます。

「アマチュア野球の魅力のひとつである『元気』と『マナー』を合言葉に、ハツラツとした規律あるチーム作りを目指して精進しています」

「野球のプレー以外の行動にこそ我が野球部の真髓がある。我々を取り巻く多くの方々への感謝、また野球が出来ることに感謝し、仕事100%・野球100%」

そして、この会社は薬品業界全体のことを考え、常に他社との共存共栄を目指しています。佐藤薬品工業は「道德」を軸とした経営でがっちりです。この会社の取組は、私たちの生き方の参考になるのではないのでしょうか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

